

【21 JR 鹿児島本線 JR Kagoshima Line】



長洲駅付近から

JR 鹿児島本線では、門司港駅～八代駅の区間のうち、西側(海側)が開けたところからは、平野越しに“[北東面～南東面の雲仙岳](#)”が眺望できます。具体的には、長洲駅付近や玉名駅付近、熊本駅～宇土駅付近、八代駅付近などから、河川や街並み越しに眺望できます。また、宇土駅で西に分岐して宇土半島を走るJR 三角線では、ほとんどの区間から有明海越しの雲仙岳が眺望できます(↓)。JR 鹿児島本線の南方区間(川内駅～鹿児島駅)との間を接続している肥薩おれんじ鉄道(八代駅～川内駅)では、空気が澄んでいれば、肥後二見駅以南の海沿いの区間から八代海越しの雲仙岳が見られます。

近くを並走している新幹線に比べると、よりゆっくりといろいろな区間から雲仙岳の表情を眺めることができます。JR 鹿児島本線の路線を走る観光列車には、“特急 A 列車で行こう”(熊本駅～宇土駅～三角駅)や“SL 人吉”(熊本駅～八代駅～人吉駅)、“特急有明”(博多駅～長洲駅)のほか、九州を周遊する“クルーズトレインななつ星”などがあり、これらの列車からも雲仙岳が眺望できます。熊本駅付近からは阿蘇山も眺望できることがあり、阿蘇山と雲仙岳の間の歴史的な大三角形(※阿蘇地域のページ参照)を視覚的にイメージすることが可能です。

熊本駅～川尻駅の間で横断する白川・緑川の水は、熊本平野を潤しながらやがて有明海に流れ込みますが、全国一の規模を誇る有明海の干潟の泥は、かつての阿蘇山の大噴火による噴出物を白川・緑川などが日々流し込んでいるもので、その泥が外洋に流れ出さないのは、雲仙岳そびえる島原半島が有明海の水の出入口を狭めているためです。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、JR 鹿児島本線で旅してみませんか？

●JR 鹿児島本線の情報はこちら↓

JR 九州(九州旅客鉄道株式会社) http://www.jrkyushu-timetable.jp/jr-k_time/r_kagoshima.html



熊本駅～川尻駅から(緑川流域)



網田駅～赤瀬駅から(JR 三角線)